

シリーズ	形式記号	設定圧力範囲MPa ※0.01~100MPaは対数目盛						掲載ページ	
		-0.1 真空 0	0.01	0.1	1	10	100		
18Dシリーズ 0880	0880100	■						842	
	0880200		■					842	
	0880300			■				842	
	0880400				■			842	
	0880600					■		842	
18Dシリーズ 0882	0882100				■			842	
	0882200					■		842	
	0882300						■	842	
	0882400						■	842	
33Dシリーズ 0863	08630※2	■	■					844	
	08631※2		■	■				844	
	08632※2			■	■			844	
	08633※2				■	■		844	
	08634※2					■	■	844	
	08635※2						■	844	
	08636※2							■	844
	08637※2							■	844
	08638※2							■	844

注) 上記の設定圧力範囲は概略です。詳細仕様は各ページ参照してください。

基本動作

■圧カスイッチ

圧カスイッチとは、圧力が設定圧力よりも高くあるいは低くなると、内蔵されたマイクロリミットスイッチが作動し、電気回路を開いたり閉じたりする検出機器です。圧力検出部は、ダイヤフラム・ペロー・ピストン等を使用しています。プランジャのすべり抵抗およびスプリングのヒステリシスのため上昇時切替わり圧力と下降時切替わり圧力との差（開閉圧力差）が必然的にあります。この開閉圧力差が固定・可変の二種類を揃えています。

■開閉圧力差（ヒステリシス）について

- 開閉圧力差は調整することはできません。
- 上昇または、下降復帰圧力は設定圧力に対応する固有の開閉圧力差によって決まります。
下限設定の場合
●上昇復帰圧力は、下限設定圧力と対応する固有の開閉圧力差を加えた値になります。
- 上限設定の場合
●下降復帰圧力は、上限設定圧力と対応する固有の開閉圧力差を引いた値になります。

圧力検出部

■圧力検出方法

圧力検出方法は圧力変化を位置変化として変換して検出するためダイヤフラム・ピストン・ペロー等を使用しています。設定圧力・使用流体等の条件により選定できるよう幅広く揃えています。

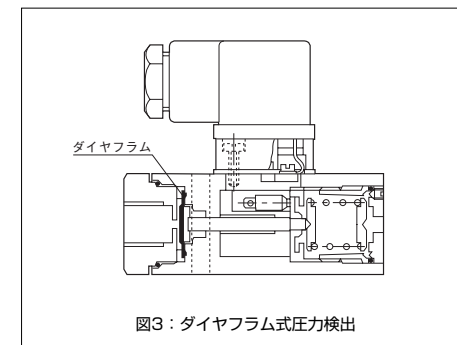


図3: ダイヤフラム式圧力検出

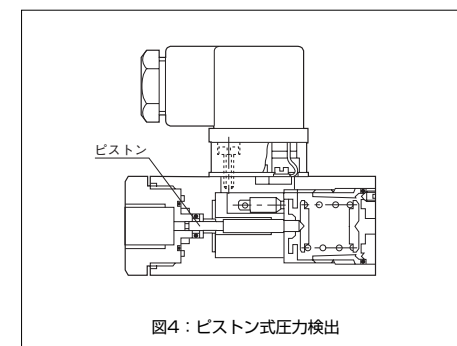
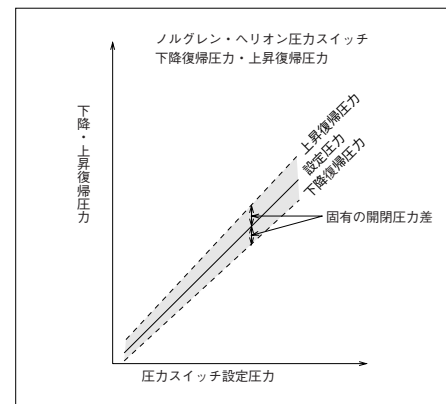


図4: ピストン式圧力検出

選定方法

■開閉圧力差固定形を使用する場合

圧力上昇に於ける上限圧力、あるいは圧力降下に於ける下限圧力のどちらか一方を検出する場合に使用します。上限圧力と下限圧力の両方検出する場合は2個必要になります。検出する圧力が、カタログ仕様中の設定圧力範囲の中央くらいの圧力になるような圧カスイッチを選定してください。設定圧力範囲は、余裕をもって選定してください。

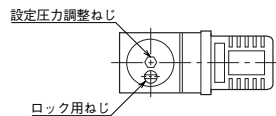
■開閉圧力差可変形を使用する場合

圧力上昇に於ける上限圧力、および圧力降下に於ける下限圧力の両方を検出する場合に使用します。まず、検出する上限圧力と下限圧力の両方の圧力が、カタログ仕様中の設定圧力範囲の中央くらいの圧力になるような圧カスイッチを選定してください。次に、上限圧力と下限圧力との差圧が開閉圧力差の範囲内であることを確認してください。もしその範囲外であれば、その選定した圧カスイッチは不適当です。必ず、設定圧力範囲と開閉圧力差範囲の二項目の確認をしてください。

取扱要領

■調整方法

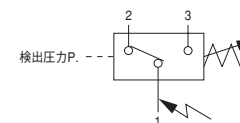
(0880・0882シリーズ)



1. ロック用ねじをゆるめてください。
2. 設定圧力調整ねじを回し、設定圧力を調整してください。
(右回転 - 設定圧力上昇)
(左回転 - 設定圧力下降)
3. ロック用ねじを締めて固定してください。

配線方法

■標準形（表示灯なし）の場合

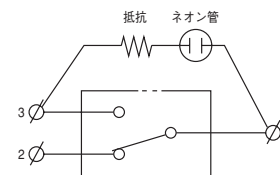


- 端子1-3：圧力上昇により接点閉（A接点）
 - 端子1-2：圧力上昇により接点開（B接点）
- 各シリーズの電気定格の最大使用電流値以下で使用してください。

■表示灯付の場合（0880・0882シリーズのみ）

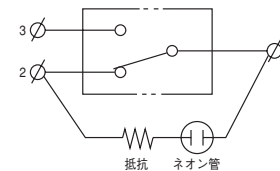
1. 回路図

- 交流でA接点使用の場合
0880※00-L1A・0880※00-L2A
0882※00-L1A・0882※00-L2A



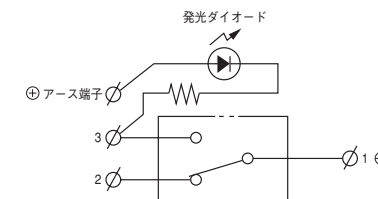
注) 端子1-3使用(スイッチOFFでネオン管点灯)

- 交流でB接点使用の場合
0880※00-L1B・0880※00-L2B
0882※00-L1B・0882※00-L2B



注) 端子1-2使用(スイッチONでネオン管点灯)

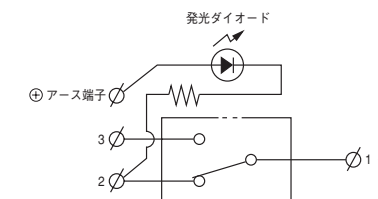
- 直流でA接点使用の場合
0880※00-L8A
0882※00-L8A



注) 端子1-アース端子使用(スイッチONでダイオード点灯)

注) アース端子に+側の電気配線をしてください。ここでは圧カスイッチ本体に電流が流れることを防止するため本体平形アースピンのカットを要します。(圧カスイッチと組み合わせて購入の場合は、カット実施済です。)

- 直流でB接点使用の場合
0880※00-L8B
0882※00-L8B



注) 端子1-アース端子使用(スイッチOFFでダイオード点灯)

注1) アース端子に+側の電気配線をしてください。ここでは圧カスイッチ本体に電流が流れることを防止するため本体平形アースピンのカットを要します。(圧カスイッチと組み合わせて購入の場合は、カット実施済です。)
注2) プログラマブルコントローラとの組み合わせ等、電子回路において微小電流用で表示灯を使用する場合はLEDの抵抗なしとする必要があります。(L8AN・L8BN)